

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 5 区分
【発行日】令和 2 年 5 月 21 日 (2020.5.21)

【公開番号】特開 2020-55531 (P2020-55531A)
【公開日】令和 2 年 4 月 9 日 (2020.4.9)
【年通号数】公開・登録公報 2020-014
【出願番号】特願 2020-5219 (P2020-5219)
【国際特許分類】

B 6 0 N 2/68 (2006.01)

A 4 7 C 7/40 (2006.01)

【F I】

B 6 0 N 2/68

A 4 7 C 7/40

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 4 月 6 日 (2020.4.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

シートバックフレームと該シートバックフレームに載置されたシートバックパッドとを有するシートバックを備える車両用シートであって、

前記シートバックフレームは、

一対のサイドフレームと、

前記一対のサイドフレームの間に設けられ乗員の背を後方から支持する S バネと、

前記一対のサイドフレームの下端部に取り付けられ、前記一対のサイドフレームの間を連結するロアメンバーフレームと、を備え、

前記シートバックパッドは、前記 S バネの前方に配置された軟質パッドと、前記ロアメンバーフレームのすぐ前方に配置された硬質パッドと、を有することを特徴とする車両用シート。

【請求項 2】

前記硬質パッドは、前記ロアメンバーフレームに対面していることを特徴とする請求項 1 に記載の車両用シート。

【請求項 3】

前記ロアメンバーフレームは湾曲した湾曲面を有し、

前記硬質パッドは、前記ロアメンバーフレームの前記湾曲面に対面していることを特徴とする請求項 2 に記載の車両用シート。

【請求項 4】

前記ロアメンバーフレームは湾曲した湾曲面を有し、

前記硬質パッドは、前記ロアメンバーフレームの前記湾曲面のうち、前記湾曲面の上部及び下部よりも後方側に窪んだ中央部に対面していることを特徴とする請求項 2 に記載の車両用シート。

【請求項 5】

前記軟質パッドは、前記 S バネに対面していることを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の車両用シート。

【請求項 6】

前記軟質パッドは、前記Ｓパネに接していることを特徴とする請求項５に記載の車両用シート。

【請求項７】

前記軟質パッドが対面する前記Ｓパネは、乗員の胸部の高さに配置されていることを特徴とする請求項１から６のいずれか一項に記載の車両用シート。

【請求項８】

前記シートバックパッドの背面側に、前記硬質パッドと前記軟質パッドとの境界面が配置されていることを特徴とする請求項１から７のいずれか一項に記載の車両用シート。

【請求項９】

前記シートバックの下端部にリクライニング装置を有し、

前記硬質パッドは、少なくとも一部が、前記シートバックの後方から前記リクライニング装置のリクライニング軸の上方にかけて配置されていることを特徴とする請求項１から８のいずれか一項に記載の車両用シート。

【請求項１０】

前記硬質パッドの後方部には、後方に向けて突出する凸部が形成されていることを特徴とする請求項１から９のいずれか一項に記載の車両用シート。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

前記課題は、本発明に係る車両用シートによれば、シートバックフレームと該シートバックフレームに載置されたシートバックパッドとを有するシートバックを備える車両用シートであって、前記シートバックフレームは、一対のサイドフレームと、前記一対のサイドフレームの間に設けられ乗員の背を後方から支持するＳパネと、前記一対のサイドフレームの下端部に取り付けられ、前記一対のサイドフレームの間を連結するロアメンバーフレームと、を備え、前記シートバックパッドは、前記Ｓパネの前方に配置された軟質パッドと、前記ロアメンバーフレームのすぐ前方に配置された硬質パッドと、を有することに
より解決される。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

このとき、前記硬質パッドは、前記ロアメンバーフレームに対面していると好適である。

また、前記ロアメンバーフレームは湾曲した湾曲面を有し、前記硬質パッドは、前記ロアメンバーフレームの前記湾曲面に対面していると好ましい。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

また、前記ロアメンバーフレームは湾曲した湾曲面を有し、前記硬質パッドは、前記ロアメンバーフレームの前記湾曲面のうち、前記湾曲面の上部及び下部よりも後方側に窪んだ中央部に対面していると好適である。

また、前記軟質パッドは、前記Ｓパネに対面していると好適である。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

更に、前記軟質パッドは、前記Sバネに接していると好適である。

また、前記軟質パッドが対面する前記Sバネは、乗員の胸部の高さに配置されていると好適である。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

更に、前記シートバックパッドの背面側に、前記硬質パッドと前記軟質パッドとの境界面が配置されているとよい。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また、前記シートバックの下端部にリクライニング装置を有し、前記硬質パッドは、少なくとも一部が、前記シートバックの後方から前記リクライニング装置のリクライニング軸の上方にかけて配置されていると好適である。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

また、前記硬質パッドの後方部には、後方に向けて突出する凸部が形成されていると好適である。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

本発明においては、軽量化が実現されるとともに、剛性もまた高く確保された車両用シートを提供することができる。